

グループ	順番	事業の名称	提案団体	公民館区	協働・連携団体	事業概要
1	1	街コンじゃなくて・・・森コンでもいいんじゃね！事業	森コン実行委員会	宍道		【事業の目的】 地域の若者の新たな行動への機会と動機付けのため、現在宍道地域に点在するアクティビティエリアを利用し、遊びながらの出会いを創出する。アウトドア的なスポーツにより、リアルな世界へ飛び出すきっかけを作る。 宍道ふるさと森林公園をベースとした、若者のアクティビティコンテンツとして、新しい観光振興につなげる。 【事業の内容】 令和3年度はサバイバルゲームを利用した出会いの場を創出。 アイスブレイクでの自己紹介後、フィールドを散歩し、2グループで対戦。 【事業の成果】 男女とも気楽に参加でき、運動で楽しめる形のサバゲーは今後も出会いの場として活用できる。 主要都市部から近い場所でのアウトドアの出会いは、必ず将来につながると考える。
	2	「公益社団法人 松江青年会議所 創立65周年記念事業」 2021 JCI Matsue presents Sustainable Space in 島根町	公益社団法人 松江青年会議所	島根	島根公民館、まちづくり協議会、県内外企業（スノーピークビジネスソリューションズ㈱、ワークアット㈱）、地元プレイヤー（(有)明神漁業、LOCOBLUE、(株)Birdman島根支社、よっち、民宿なかよし、梶野工務店、その他個人の有志）	【事業の目的】 島根町内で地域内外の方が交流する場を作り、関係人口の創出を図る。 【事業の内容】 ・都市部から体験モデルの方を紹介し、地元企業や住民と交流しながら、地元独自のアクティビティを体験したり、地元料理を堪能し、島根町での暮らしを体験する中で、外からの目線で人口減少にかかる地域課題と解決策を見出してもらう。 ・県外企業から体験モデルを招待し、キャンプオフィスなどを設営した廃校となった小学校で、アウトドアオフィスやワーケーション体験を行う。 【事業の成果】 地域資源の一つである廃校が、地元プレイヤーや行政の協力により、関係人口創出の拠点づくりのきっかけとなった。 また、海のまちならではのおもてなしができ、キャンプオフィス体験では、ワーケーション等の新しい働き方への可能性を感じることができた。
	3	ふるさと再発見プロジェクト～part1 美人塚～	東出雲ふるさと再発見プロジェクト推進体	東出雲		【事業の目的】 地域の文化資源に光を当て、新たな価値を生み出すことで、地域の活性化と愛着のある故郷づくりに繋げることを目的に、地域文化の伝承を地域団体等との共創により取り組む。 【事業の内容】 ・美人塚ふれあい広場の草刈り、土壌の調査改良、広場の整備。 ・花しょうぶ植栽作業では、子どもから大人まで多くの人が参加。 この地域に伝わる伝承文化を紙芝居上映し周知。 【事業の成果】 子ども心に響く地元の伝説、地域づくりに関わった経験として、大人になっても心に残り、故郷への愛着につながった。 受け継いだ伝統文化を守り後世へとつなぐ活動や、その資源に新たな価値を加えて地域を活性化する取り組みとなり、その活動によって育った人材が、いずれは地域の担い手となって活躍するような、住み続けたい、帰ってきたいと思える取り組みとなった。
2	4	日速の森プロジェクト	NPO 法人松江サードプレイス研究会（ノヴィープロジェクト）	玉湯	玉湯町大谷地区	再生した 120 年前のピアノ「ノヴィー」を興雲閣から旧大谷小学校へ引越したことをきっかけに、玉湯町大谷地区の住民と「日速の森プロジェクト」を立ち上げ、廃校を活用した地域活性化の取り組みとして定期的にコンサートを開催。「日速の森プロジェクト」の代表は大谷地区の住民が担い、副代表やその他役員は両者のメンバーによって構成されている。 コンサートの企画はノヴィープロジェクトがおこない、会場設営・当日の運営は、ノヴィープロジェクトと玉湯町大谷地区メンバーが協力しあいながらおこなっている。 6 月は夜にコンサートを開催し、終了後にはホテル鑑賞につなげたり、コンサートにあわせて地元の野菜を販売するなど、大谷地区の特徴を活かす取り組みもおこなっている。 10 月には有名ピアニストを迎え開催されるプラバホール音楽祭にあわせたアウトリーチのコンサートをNPO 法人松江音楽協会と連携し旧大谷小学校で開催する予定。
	5	朝酌川河川敷フラワープロジェクト	川津公民館	川津	地元町内会、松江東高校、学園通り商店街振興組合、地元青少協	西川津町を流れる朝酌川の西岸約500メートルの河川敷をコスモスの花畑にしようと立ち上げられたプロジェクト（令和3年～） ・ 桑山橋から橋本大橋の右岸 500 m ・ 市報松江 2021年9月号掲載 コスモスが咲き誇る、地域の安らぎと憩いの場となっている。
	6	古志原ヒルズでお買い物ツアー	市営古志原アパート自治会	古志原	社会福祉法人上口福祉会（ケアハウス古志原ヒルズ）、民生委員、自治会、福祉推進員、松江市社会福祉協議会	買い物に課題を抱える方を対象に1回/月近隣のスーパー等の小売店舗に、社会福祉法人が地元施設の地域貢献事業として送迎し、買い物を支援する。 社会福祉法人所有車は、手すりやステップ付で、高齢者も安心して乗降できる。 外出に困っている方、買い物に困っている方への支援となっている。
3	7	ちくや一心助け隊	住民	竹矢	・ 竹矢公民館 ・ 竹矢地区社会福祉協議会	高齢化の進行や多様化する福祉ニーズに対応する為、住民同士の助け合いを基本とした住民主体有償ヘルプサービスを展開し、住み慣れた竹矢での在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に、支援者と利用者及びこの事業に賛同する賛助隊員によって組織して、各種生活支援をおこなっている。
	8	災害時に於けるLINEグループの活用	朝日町内会自治会連合会	朝日		万一の災害時に災害状況の共有や安否確認、災害支援物資の配送状況の連絡など、地区災害対策本部からの発信やLINE連絡員からの連絡など、双方の連絡を迅速に行うものです。
	9	本庄夏まつり	本庄夏まつり実行委員会	本庄	本庄地区町内会、本庄町区	江戸時代から続く本庄祭りは、熊野大社例大祭の日の島御堂での賑わいで、近隣からの来訪者も多く、竹内神社祭り、天神祭りと並ぶ松江の三大祭りと言われていた。本庄町区の事情で20数年間中止されていたが、復活を望む声で本庄町区等と本庄町の若者が立ち上がって実現した。現在は若者を中心とした実行委員会で運営し、本庄地域の全戸からの協力で本庄夏祭りとして、例大祭の日に地域全体の祭りとして実施している。